

## 農地土壌、林野、牧草の放射能分析について

平成23年7月4日

農 林 水 産 省

### 農地土壌

#### 1 取組の概要

今後の農耕地での作付けに向けて、まずは広域での農地土壌の放射能濃度の分布を把握するため、環境モニタリングの中心的な機関である文部科学省や福島県等関係県と連携し、農地土壌を採取・分析し、放射能濃度の分布図を作成  
福島県は2 kmメッシュ単位で約300地点（警戒区域等内は別途調整中）、周辺地域（宮城県、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県を対象）は約10 kmのメッシュ単位で約200地点の計約500地点について、農地土壌の採取・分析を計画  
今後、必要性に応じて分析地点を増やすことを検討

#### 2 実施機関

当省所管の独立行政法人である農業環境技術研究所等において、土壌の分析を行うとともに、同研究所において農地土壌の放射能濃度分布マップを作成

#### 3 進捗状況

7月1日までに、調査地点約500地点中、約370地点（福島県280、周辺県100）の土壌試料の採取が終了。また、約300地点の土壌試料の分析が終了。

#### 4 今後の予定

7月中に現在調整中の警戒区域等を含め、農地土壌の採取・分析を終了予定  
農地土壌の分析結果等をもとに8月中に農地土壌マップを作成予定

## 林野

### 1 今後の予定

福島県内の森林地域において、10kmメッシュを基本に必要な調査地点を設定し（福島県内で約200地点の測定を予定）森林内の空間線量率及び土壌等における放射性物質濃度について調査を行い、濃度分布図等を作成予定。

## 牧草

### 1 取組の概要

牧草の刈り取り等粗飼料の生産シーズンを迎える中、通常よりも高いレベルで放射線量が検出されている都県などでは、生産者が食品の放射性物質の暫定規制値を超えない牛乳や牛肉を生産できるよう、牧草の放射性物質濃度を把握するための県内複数箇所の定点を設定した調査を実施。

### 2 実施機関

都県

### 3 進捗状況

6月29日現在、東北関東地域の1都13県（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県）において、のべ457サンプルの採取・分析を行い、分析結果を公表。

### 4 今後の予定

都県が行う生産者に対する牧草の給与等に係る指導に活用。